

スクールマネジメント実践報告書

106 直江津中学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	○目標をもって自ら学ぶ子 ○互いに認め合い高め合う子 ○自らを律し心と体を鍛える子
本校の目指す子ども像	お互いに認め合い、自ら学び、自らを律し、社会に貢献しようとする生徒



小中一貫教育の具体的な取組		
実現に向けた重点的な取組内容	本校の取組	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「信頼し合う」を共通のテーマに、学ぶ意欲の向上に向けた各学校の実践を共有し、実践事項の自校化を図る。 ・中学校区全員研修会において、教育委員会指導主事による基調講演会を開催し、校内研究づくりの具体と理念の共有を図る。 	<p>中学校区の教職員が「教育課程」、「学力向上」、「特別支援教育」、「人権教育、同和教育」、「生徒指導」の5つの部会に分かれて、情報交換と実践の共有を行っている。</p>
	成果○と課題■	成果○と課題■
	<p>○「信頼し合う」について実践報告集を作成し、中学校区の教職員一人一人の実践から学び、児童生徒の学ぶ意欲を高めるために活用することができた。</p>	<p>○中学校区の課題を明らかにするとともに、課題や実践を共有することができた。</p> <p>■実践内容の評価・検討を行うとともに、計画的に取り組むことができるようにする。</p>

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
<p>当校のスクールポリシーである「いざ世のために」の実現に向け、また、自己の生き方を考え、夢や目標の実現に向けて取り組む活動を行った。</p> <p>体験活動や講話、訪問を通して、自己を見つめ直し、自己の生き方を考えるようになった。</p>	総合	地域探究学習「直江の津」（1年）
	総合	ゆめチャレンジ「職場体験学習」（2年）
	総合	いざ世のために「進路探究学習」（3年）
<p>学校運営協議会の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に地域との繋がりを大切に活動に取り組んでいる。 ・学校便りなどで生徒の活動の様子が地域にも丁寧に紹介されている。 ・生徒は、地域の人たちと触れることで、ふるさと「直江津」への愛着と誇りを改めて感じることができる。 	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
		当てはまらない

スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	2人	住民	7人	その他	3人	合計	13人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回(0)	2学期	1回(0)	3学期	1回(0)	合計	3回(0)
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	0回(0)	2学期	0回(0)	3学期	1回(0)	合計	1回(0)

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の学校運営（(1)経営計画、(2)教育課程、(3)組織）について、協議を行い、承認を頂いた。 ・学校評価に関わっての協議を行い、2学期以降の学校の取組について承認を頂いた。 ・令和6年度のグランドデザインや学校評価をうけての令和6年度の取組、令和5年度夢・志チャレンジスクール事業の活動について承認を頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動の成果や課題、学校評価を共有し、委員の皆様からは次年度に向けた取組の視点や具体的に支援いただけることについて提案を頂いた。 ○令和6年度の教育活動に向けて、ボランティア活動や学校行事の実施時期等、学校を支援するための具体的な方策について協議を進めた。 ○不登校生徒への対応について、初期対応を丁寧に行うことの認識を共有した。また、不登校生徒が減っていく環境づくりを保護者・PTAとしてもできることを検討して行きたいとの御意見を頂いた。

地域とともにある学校づくりの総括及び教育委員会への要望・意見
直江津の商工会としても人材育成に取り組んでいる。特に直江津地域には、鉄道や建設業、建築士など中学生にとっても魅力ある企業が多い。職場体験の体験先として、中学生の候補に入るようにしていただきたい。

〈活動写真〉



○地域探究学習「直江の津」（1年）直江津地区を中心に各自の調査テーマに合わせて事業所や施設などを訪問し、探究活動を行いました。



○ゆめチャレンジ「職業体験学習」（2年）4年ぶりの実施となりました。42事業所から受入れていただき、3日間の貴重な体験を行いました。



○いざ世のために「進路探究学習」（3年）直江津のために自分たちができることは何か。調査活動を通じて学んだことを実践したり提案したりしました。